



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要		BEE	1.1	BEEランク	B+	★★★
建物名称	富士カプセル橋北山工場 新包装棟新築工事					

重点項目	得点*/満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.1	/5	ふつつ
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.8	/5	がんばろう
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.7	/5	がんばろう
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.0	/5	がんばろう

※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)	評価 凡例	よい 4 点以上	ふつつ 3 点以上	がんばろう 3 点未満
--	-------	----------------	-----------------	-------------------

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目		
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。		得点	3.1	
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)				
<ul style="list-style-type: none"> ■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) <ul style="list-style-type: none"> ①窓U=6.00(W/m) 外壁U=0.49(W/m) ③ブラインド又はカーテンによりグレアを制御 ④外壁 金属製断熱サッシパネル 15~20年以上(塗装塗替え) 内装 クロス貼り 10年程度 設備配管・ダクト 30年以上 主要設備機器 15年程度 ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) <ul style="list-style-type: none"> ⑨BEIm=0.5 LED照明の採用。省エネ機器の導入。 ⑩運用管理体制を組織化している。 ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) <ul style="list-style-type: none"> ⑪節水コマを採用。 ⑫S造につき、解体時に躯体と仕上げ材の分別が容易。 ⑬屋内消火栓 	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④ Q-3 1 ⑤ 3 3.2 ⑥	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ⑤ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ⑥ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ⑦ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ⑧ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ⑨ 主要設備機器の更新必要間隔 ⑩ 生物環境の保全と創出 ⑪ 敷地内温熱環境の向上		
	<ul style="list-style-type: none"> ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) <ul style="list-style-type: none"> ⑨BEIm=0.5 LED照明の採用。省エネ機器の導入。 ⑩運用管理体制を組織化している。 		LR-1 1 ⑦ 2 ⑧ 3 ⑨ 4 4.1 ⑩ 4.2 ⑩	⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制
	<ul style="list-style-type: none"> ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) <ul style="list-style-type: none"> ⑪節水コマを採用。 ⑫S造につき、解体時に躯体と仕上げ材の分別が容易。 ⑬屋内消火栓 		LR-2 1 1.1 ⑪ 1.2 1.2.1 ⑪ 1.2.2 ⑪ 2 2.1 2.1.1 ⑫ 2.1.2 ⑫ 2.1.3 ⑫ 2.1.4 ⑫ 2.1.5 ⑫ 2.1.6 ⑫ 3 3.1 ⑬ 3.2 3.2.1 ⑬ 3.2.2 ⑬ 3.2.3 ⑬	⑪ 節水 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑫ 材料使用量の削減 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 ⑬ 消火剤 ⑬ 断熱材 ⑬ 冷媒
	<ul style="list-style-type: none"> ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) 		LR-3 1 ⑭ 2 2.2 ⑮	⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善
"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)				
<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑯建築基準法の1.2倍 設備機器は耐震クラスB以上で設置予定 	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰	⑯ 耐震性 ⑯ 免震・制振性能 ⑰ 空調・換気設備 ⑰ 給排水・衛生設備 ⑰ 電気設備 ⑰ 機械・配管支持方法 ⑰ 通信・情報設備		
	<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑳すべての階高が3.5m以上とゆとりがある。壁長さ比率=0.15と間取り変更には柔軟に対応でき 		Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲ 3 3.1 3.1.1 ⑲ 3.1.2 ⑲ Q-3 3 3.1 ⑲	⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ ⑲ 地域性への配慮、快適性の向上
<ul style="list-style-type: none"> ■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) 				
"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)				
<ul style="list-style-type: none"> ■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境の保全と創出/㉑まちなみ・景観への配慮/㉒敷地内温熱環境の向上) ㉒建物形状・外装の配色は周辺の環境に調和するように配慮している。 	Q-3 1 ⑳ 2 ㉑ 3 3.2 ㉒	⑳ 生物環境の保全と創出 ㉑ まちなみ景観への配慮 ㉒ 敷地内温熱環境の向上		
	<ul style="list-style-type: none"> ■敷地外環境対策 (㉓温熱環境悪化の改善) 		LR-3 2 2.2 ㉓	㉓ 温熱環境悪化の改善